

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	鳥 取
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	日南町立日野上小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	14
児童数	14	16	19	17	12	21	2	101	

研究の概要

1. 研究主題

<p>かかわり合う活動を通して、自己を拓き、豊かに表現できる子 ～ひとりひとりのよさを生かす学習活動を核にして～</p>
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>1年～6年、障害児学級 算数科 国語科 総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数的表現力を育成するための指導法を工夫し、一人一人が自分の考えを発表し練り合いのできる授業づくりを目指す。 ・算数科を核として、基礎・基本の確実な定着を図り、学力の向上を目指す。

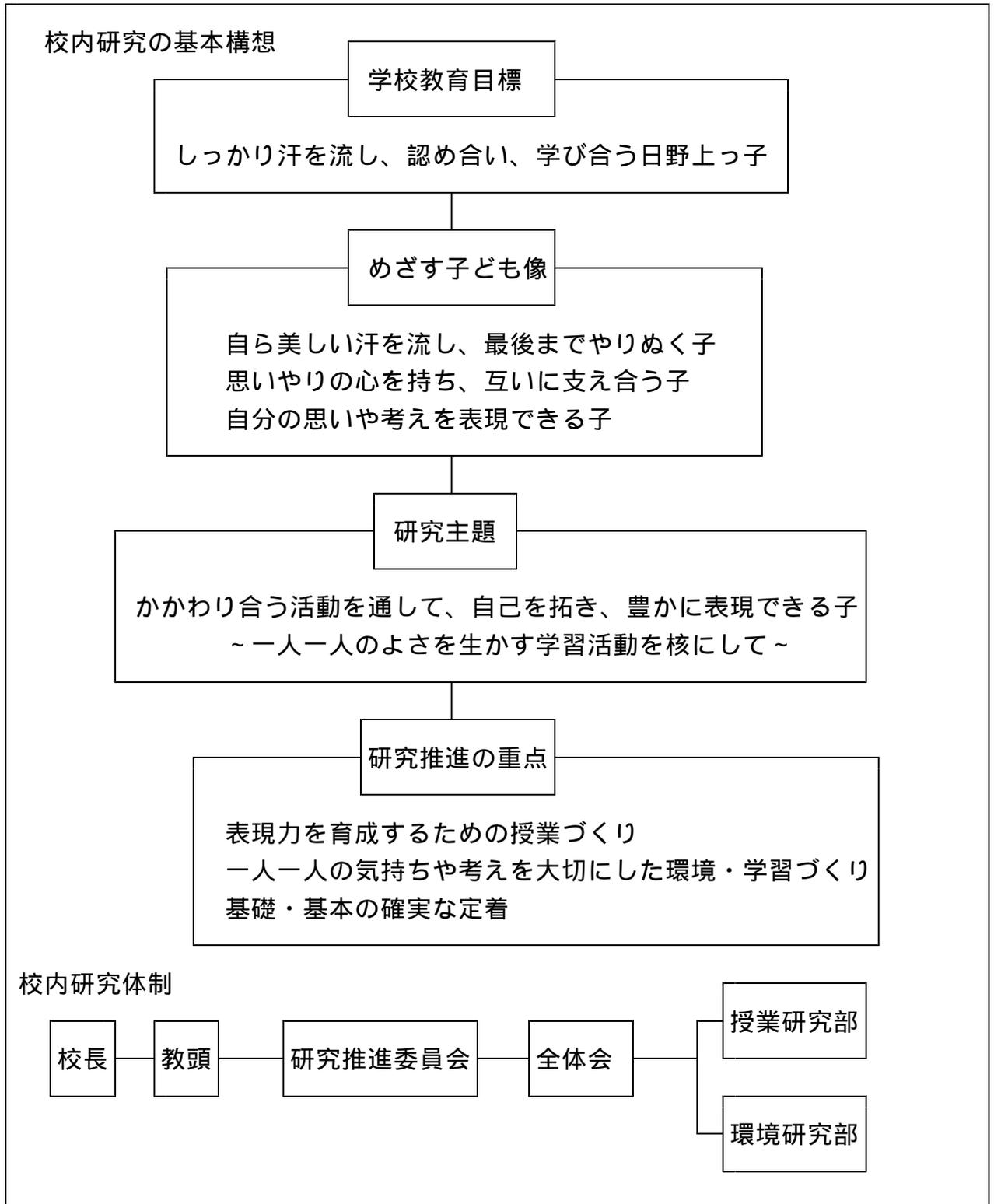
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ かかわり合う活動を通して、自己を拓き、豊かに表現できる子 ～ひとりひとりのよさを生かす学習活動を核にして～</p> <p>研究組織と内容 授業研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現力を育成するための授業づくり(体験的な活動、集合学習、コンピュータの活用) ・算数的表現力の育成(算数的活動の充実他) ・基礎基本の定着(算数科・国語科の学習の充実)
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準の見直し・指導と評価の一体化 <p>学習集団づくり部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合い」のある学級・学校づくり ・表現力の育成の場の工夫 ・自分らしさの発見
--	---

平成 16 年 度	<p>テーマ</p> <p>かかわり合う活動を通して、自己を拓き、豊かに表現できる子 ～ひとりひとりのよさを生かす学習活動を核にして～</p> <p>研究組織と内容</p> <p>授業研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着のための繰り返し指導 ・算数的表現力の育成 ・思考力、表現力を育成するための指導法の工夫 ・算数科における評価規準の見直し・指導と評価の一体化 ・個に応じた指導を行うための効果的TTのあり方 ・発展的指導のための教材開発 ・自力解決、練り上げ場面での適切な支援のあり方 <p>環境研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向けた研修の充実 ・特別非常勤講師の活用 ・地域人材の活用と協力 ・教室における学習の足跡を活用できる環境づくり ・算数コーナーの設置
--------------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 1 体験的な活動の推進
 - ・集合学習、総合的な学習の時間、理科における校区周辺、日野川における生き物観察等の活動を通して、資料のまとめ方、発表の仕方等に工夫・改善の意欲と関心が高まった。
 - ・算数的活動に少しずつ広がりが見られるようになった。
- 2 発表の機会と場の設定
 - ・発表集会を新設し、学年ごとに意見発表し、他学年は感想を伝えることにより一人一人の表現力が向上しつつある。
 - ・算数科を核として、授業中一人一発言に心がけコミュニケーションのある授業が増えつつある。
- 3 算数科における授業改善と指導力の向上
 - ・基本的な学習過程の構築と共通理解が図れ、実践化に結びついた。
 - ・学習課題の明確化と工夫をおこない、児童の興味・関心が高まった。
 - ・自力解決から練り合いに向けた授業構成の見通しが持てるようになった。
 - ・自力解決でのつまづき等評価規準に照らし合わせ予想し、支援をあらかじめ準備することで、的確な評価、支援ができるようになった。
 - ・TTによる個に応じた評価や支援の充実が図れた。

2. 今後の課題

- 1 体験的な活動の推進
 - ・総合的な「教材環境マップ」の作成および日野川ドリームランドの整備を行う。
- 2 発表の機会と場の設定
 - ・全校朝会、学級での朝の会、終わりの会の充実を図る。
- 3 算数科における授業改善と指導力の向上
 - ・算数的な環境づくりの整備を進める。
 - ・算数的な活動をを取り入れ基礎・基本をしっかりとおさえるとともに、学習意欲の向上を図る。
 - ・評価規準をより明確にし、指導の焦点化を図る。
 - ・練り上げ場面でより思考を深めるための発問を工夫する。
 - ・補充的、発展的な算数学習の充実をめざす。

学力等把握のための学校としての取組

- 1 県国語・算数科診断テスト（意識調査含む）2月上旬
 - ・ 1 学年～ 6 学年
 - ・ 領域別到達度診断を実施し、個人の到達状況を指導の参考にする。
- 2 算数科教研式学力検査（C R T）2月上旬
 - ・ 1 学年～ 6 学年
 - ・ 基礎的・基本的な内容の到達状況の把握をし指導に生かす。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 町内 8 小中学校への授業公開（年 5 回）
- ・ 県内新任教員（中学校）への授業公開と研究協議（15 年 7 月）
- ・ 小教研日野郡部会算数授業研究会の研究発表会と兼ね、平成 16 年 10 月にフロンティアスクールとしての研究成果を発表し、普及する予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15 年度からの新規校 14 年度からの継続校

【学校規模】 6 学級以下 7～12 学級
 13～18 学級 19～24 学級
 25 学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・T による指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無 】 有 無